

ご用心!
クビアカツヤカミキリはすぐそこに

WANTED



REWARD

BEAUTIFUL SPRING, YUMMY SUMMER

外来種クビアカツヤカミキリが、日本のあちこちで、春を彩る桜、モモ、ウメを食い荒らしています。どうしたらこの虫から身近な木を守っていけるでしょうか。知ることは最大の守りです。このリーフレットでどんな虫なのか、見つけるにはどうしたらいいのか、見つけたらどうしたらいいのかを説明いたします。

クビアカツヤカミキリコンソーシアム
代表機関 国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林総合研究所

〒305-8687 茨城県つくば市松の里1番地 E-MAIL sakurakamikiri@ml.affrc.go.jp

ていることに気づいたのはあなたがはじめてのよう
だから(防除実施中の掲示とか、網を掛けて飛散
防止措置がされていなかったら)、自治体の環境を
扱う部署または緑地、農地を扱う部署に連絡して
ください。自治体の他、環境省地方環境事務所でも報
告や相談を受けつけています。



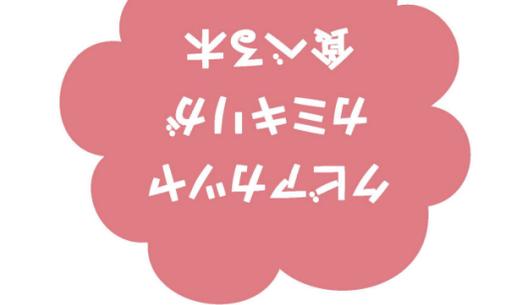
クビアカツヤカミキリ: 穴から連なっている/明るいオレンジ色/木くすはまるみか/夏から秋には大量のフラスが地際
に溜まることがある



クビアカツヤカミキリ: コロコロしたフラスが
目立つ/少量のフラスを、木のこ
かつヤカミキリに似るが、木く
すなどの部分から出す/色はク
スアカツヤカミキリより黒い

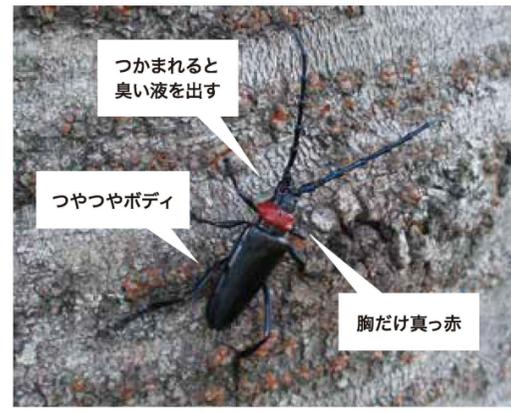


外来種対策は早く見つけて早く駆除することが一番
です。不幸中の幸いに、クビアカツヤカミキリは自分
の居場所を人に教えてくれます。その手がかりは「フ
ラス」と呼ばれる虫のフラスと木くすの混ざったもので
す。このカミキリムシの幼虫は、木の幹に排糞孔とい
う穴をあけて、そこにフラスを木の中から押し出すの
です。幼虫は5月から9月に盛んにフラスを木の外へ
出すので、その時期にフラスが出てくる木を探して
みてください。サクラやモモなどの幹にある数ミリの
円形の穴からフラスが出ていたら、中にクビアカツ
ヤカミキリがいることを疑います。



もともとは日本にいなかったカミキリムシで、2011
年に、はじめて日本への侵入が埼玉県で確認されま
した。成虫はつやのある黒い体に胸だけあざやかな
赤色の姿でとても目立ち、木にいるこの虫を初めて
見た人はぎょっとすることでしょう。成虫は6~7月
に木から出てきて活動します。この虫の幼虫は、サ
クラ、モモ、ウメなどのバラ科樹木の幹の中を食い
荒らし、放っておくと終いには木を枯らしてしまいま
す。2021年の時点で、群馬県、栃木県、埼玉県、茨城
県、東京都、神奈川県、愛知県、三重県、大阪府、奈
良県、和歌山県、徳島県の12都府県でこの虫による
被害がみつかっています。

成虫



幼虫



木の皮の内側を猛烈な勢いで食い進む 十分に大きくなると木の材の部分に入る

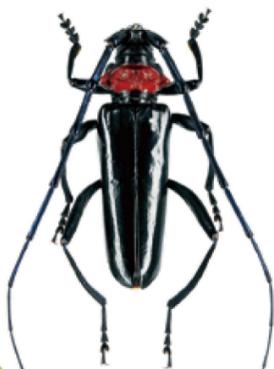


クビアカツヤカミキリはバラ科の樹木を食い荒らし
ます。バラ科のうち日本国内で本種による被害がみ
つかったのは、モモ(ハナモモ含む)、アリン、ウ
メ、スモモ、フラス、サクラ(ソメイヨシノ、オオシロ
クワ、ヤマザクラ)といった、サクラにより近い仲間
の樹木です。これらの樹木の中で、国内においてク
ビアカツヤカミキリによる被害本数が一番多いのは
ソメイヨシノですが、この虫が一番食い荒らしやすい
はモモ類(モモ、ハナモ
モ)のようです。

お近くにこんな木はありませんか？



6～7月には木の外に出てきます



オス成虫



メス成虫



幼虫

中にいるのはこれ

サクラ、モモ、ウメから写真のような木くずが出ていませんか？
これは木を枯らしてしまう外来種が中にあるサインです。虫のフンと木くずが混ざったもので、フラスと言います。
10年ほど前に初めて国内で見つかった外来種であるクビアカツヤカミキリが、本州、四国の各地でサクラやモモなどの木の幹を食い荒らしています。
新しい場所にこの虫が入ってしまったら、増えてしまう前に見つけないと大変なことになります。力を合わせて身近な木を見守り、早期発見してひろがるのを防ぎましょう。

もうひろげない！ クビアカツヤカミキリ

並木、公園、庭、農地でフラスや成虫を見かけたら、自治体の環境を扱う部署
または緑地、農地を扱う部署にご一報ください。
自治体の他、環境省地方環境事務所でも相談・報告を受けつけています。

注意：クビアカツヤカミキリは特定外来生物です。無許可で生きたまま持ち運ぶのは違法です。



クビアカツヤカミキリコンソーシアム

代表機関 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所